



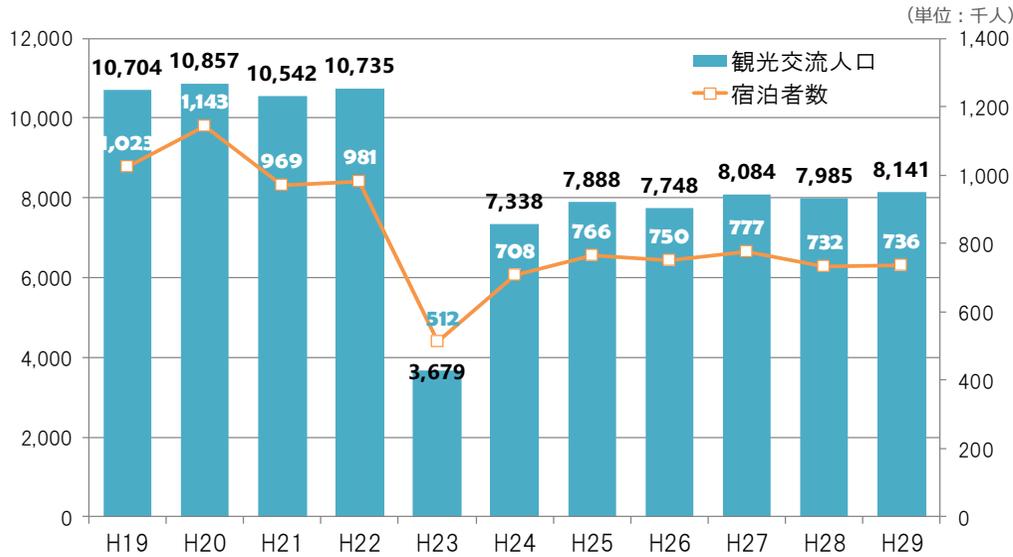
いわき市における アウトドアスポーツの動きについて

いわき市





観光交流人口の推移

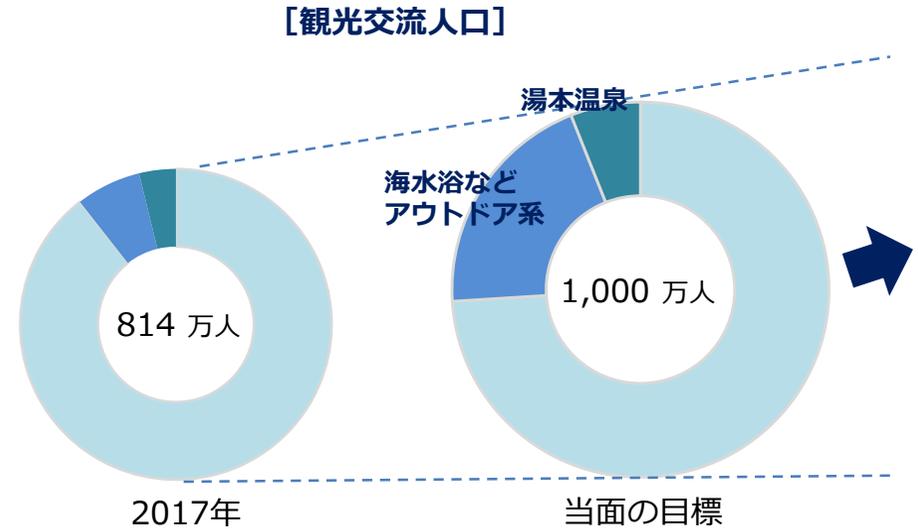


震災前 2010年 東日本大震災 2011年 震災後 2017年 震災前との比較

アカマリパーク (水族館など)	245 万人	55 万人	174 万人	△29 %
スパリゾート ハワイアンズ	180 万人	35 万人	185 万人	+3 %
海水浴など アウトドア系	200 万人	31 万人	55 万人	△73 %
湯本温泉	59 万人	54 万人	31 万人	△48 %

- 震災後、本市の観光交流人口・宿泊者数は減少。特に、海水浴などのアウトドア系で減少が顕著。

さらなる交流人口拡大に向けて



海水浴などアウトドア系と湯本温泉の震災前までの回復により、約1,000万人まで観光交流人口が回復

今後、

- アウトドア系の観光交流人口の回復
- 湯本温泉の再興

に向けた施策を重点的に展開

スポーツを軸とした地域創生推進事業 [地域未来投資促進法に係る地域創生推進交付金事業]

- スポーツを地域の新たな経済エンジンとして、新たな人の流れの創出や、地域経済の好循環を生み出すため、地域初のプロサッカーチームを目指すいわきFC等との連携によりスポーツツーリズムの促進などスポーツを軸としたまちづくりの取組みを推進
- 地域未来投資促進法基本計画に位置付け、地方創生推進交付金を活用して事業展開
 - 事業実施期間：H30～32年度
 - H30年度予算：107,840千円



いわきFCクリニック
(1月13日OPEN)



いわきFCアスリートステーション
(2月15日OPEN予定)

豊富なアウトドア資源をどのように活用するか？

60kmに及ぶ美しい海岸線



美しいあぶくま山系の山々



豊富なアウトドアフィールド



日本三大古泉 いわき湯本温泉



視察月日：平成30年12月14日（金）

御視察者：(株)モンベル 金森課長、宮畑様

趣旨等：本市のアウトドアスポーツ資源について、ご視察いただき、今後の展開のアドバイスをいただいた

御視察ルート



① 鮫川河口



ジェットスキーやウインドサーフィン、カヌーフィッシング等マリニアクティビティの愛好者が訪れ河口で楽しむほか、上級者はここから海にエントリーしていく。

② 小浜ビーチ



風光明媚でプライベートビーチ感あふれるロケーション。波が穏やかでマリニアクティビティに最適な地形。震災後、海水浴場としては再開に至っていない。

③ サンマリーナ



震災前はマリーナとして100隻近いヨット・ボートが係留されていた。現在は復興作業を概ね完了し、マリーナ及びビーチとして再開する予定。

④ アクアマリンパーク



環境水族館アクアマリンを中心に、物産センターら・ら・ミュウ、イオンモールなどが集積した、県内屈指の観光エリア。
週末には多くの家族連れで賑わう。

⑤ 薄磯・豊間ビーチ



薄磯ビーチは、震災前は県内随一の海水浴場として賑わった。
平成29年から海水浴場として再開。
豊間ビーチは震災後海水浴場としては再開できていないが、人気のサーフスポットとして年間を通じ多数のサーファーが訪れる。

⑥ 新舞子ビーチ



延々と続く海岸線を見渡せるビーチ。
サイクリングロードの中間地点。
震災前は人工ビーチの海水浴場であったが、震災後再開には至っていない。

⑦ 四倉ビーチ



広いビーチが特徴で、毎年凧揚げ大会も開催され、全国から愛好者が訪れる。
平成25年から海水浴場として再開。
サーファーも多数訪れる。
昨年は東日本サーフィン選手権大会も開催。

⑧ 夏井川渓谷



1周約3時間の滝登りトレッキングコースがあり、愛好者が多数訪れる。
新緑や紅葉の名所として観光スポットとなっている。

⑨ ニツ箭山



標高は700m余りと低山であるが、急峻な岩場があり、トレッキングやロッククライミング愛好者が多数訪れる

モンベル様ご指摘事項

素晴らしいアウトドア資源が揃っている。
特に、海岸線を活用したアウトドアスポーツには可能性があるのではないかと。

Japan Eco Trackというスポーツツーリズムの取組みがある。
エコツーリズムの視点に立ったルートづくりを支援しながら一緒に行くことも可能。エリアごとのルートマップづくりもできるのではないかと。

夏井川溪谷は、ラフティングをするには水量が足りない。
溪流トレッキングや滝遊びなど別のアクティビティの方が良い。

モンベルでは Sea To Summit という取組みを行っている。
いわきであれば、実施できる地理的な条件はクリアしている。

本市の海岸線を活用した取組み①



サイクリングロード「いわき七浜海道」



2019年7月
第1期分26km 供用開始

2019年
7月

2020年
3月

2021年
3月

第1期整備 26km

第2期整備 20km

第3期整備 7km



勿来ビーチ



小浜ビーチ



アクアマリンパーク



三崎公園



薄磯・豊間ビーチ



新舞子ビーチ



四倉ビーチ



久之浜



新舞子ビレッジ

新舞子ビレッジ サイクリング拠点整備 プロジェクト

「いわき七浜海道」の中間点に位置する
「新舞子ビレッジ」に、
新たにサイクルステーション機能と
パラスポーツの拠点機能を整備予定

① サイクルステーション整備



■「いわき七浜海道」の整備に合わせ、新たにサイクルツーリズムの拠点となる施設を整備

参考イメージ出典：奈良県立橿原公苑
ジョギング&サイクリングステーション HP

② リノベーション



■サイクリング・パラスポーツの拠点または海岸沿いの観光拠点として、魅力向上を図るためリノベーションを実施

参考イメージ出典：ONOMICHI U2 HP

本市の海岸線を活用した取組み③



(エリア構想)





OBAMAビーチパークプロジェクト

小浜海岸をアウトドア+マリナクティビティの拠点に

OBAMAビーチ

- ・風光明媚かつプライベートビーチ感あふれるロケーション
- ・波が穏やかでマリナクティビティに最適



参考イメージ出典：グランピング福岡HP

地方漁港を活用した
エンターテイメントモデル

地方漁港を活用したエンターテイメントモデル

GLAMPING + マリナクティビティ

交流人口の拡大・真の復興へ